

ICT技術を活用した防災教育の実施について

1 要旨・目的

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。

この取組の一環として実施している小学生等に対する砂防出前講座において、より分かりやすく伝えるための新たな取組として、ICT技術を活用した講義を実施した。

2 現状・背景

令和2年9月に実施した県政世論調査において、土砂災害の危険性や土砂災害警戒情報などの防災情報が発表された場合にとるべき行動を正しく理解している人の割合が7割程度に留まっている。

このため、土砂災害及び避難に関する正しい知識の普及、浸透を図るため、小・中学校及び防災教育を担う教師等を対象とした砂防出前講座を推進している。

3 概要

(1) 実施主体

広島県土木建築局砂防課

(2) 実施期間（日時）

令和3年7月30日 13時00分～14時40分

(3) 場所

三次市立作木小学校

(4) 実施内容

ア VRを活用した土砂災害体験及び土砂災害に関する講義

専用のヘッドギアを装着し、土砂災害の危険が迫ってくる様子をバーチャル体験することで、土砂災害の実態及び早めの避難の重要性等について習熟を図る。

イ 「Pepper」※を活用した水害に関する講義

ヒト型ロボットを活用することで、児童の関心を喚起・維持し、学習効果の向上を図る。

※Pepper はソフトバンクロボティクスの商標及び登録商標

4 その他

実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底している。

VRは、県ホームページ「ひろしま土砂災害体験VR」で視聴できます。
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/249/dosyasaigai-vr.html>



【ひろしま土砂災害体験VRイメージ】



(大雨警報発令)



(警戒レベル3 高齢者等避難)



(土石流発生)



(がけ崩れ発生)